令和８年第９回田原市教育委員会定例会

１　開会　令和８年９月１５日　午後１時３０分

２　閉会　令和８年９月１５日　午後２時３２分

３　会議に出席した委員

教育長	伊藤　正徳
職務代理者	田中　智和
委員	田中　早苗
委員	髙崎　佐智江
委員	山本　哲男

４　会議に欠席した委員

なし

５　会議に出席した職員

教育部長	山田　達也
教育部次長兼教育総務課長	山田　正勝
教育部次長兼図書館長	是住　久美子
学校教育課長	鈴木　和美
生涯学習課長	小久保　高
スポーツ課長	鈴木　雅也
文化財課長	天野　敏規
生涯学習課主幹	加持　廣則
教育総務課長補佐兼係長	大久保　加奈子

６　議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第９回定例会議事日程

日　時　令和８年９月１５日（火）
午後１時３０分
場　所　市役所北庁舎３階３０２会議室

１　会議録署名者の指名

２　教育長報告事項

３　議題
（１）議案第２７号　令和９年度教職員定期人事異動方針について
（２）議案第２８号　文化財保護審議会委員の任命について

４　報告事項
（１）教育委員連絡報告事項
（２）田原市議会第３回定例会一般質問等について
（３）教育委員会の事務の点検・評価の公表について

５　その他

	開　　会　　午後１時３０分
教育長	会を始める前に、部長から報告がありますので、よろしくお願いします。
教育部長	それでは、始めに教育委員さんの人事案件について、私から御報告させていただきます。 ８月の教育委員会定例会におきまして、議案として説明しております、田中早苗委員の再任の議案を、田原市議会令和８年第３回定例会に、人事案件議案第７３号として上程をさせていただきました。 初日の８月２８日、副市長からの提案説明後に採決が行われまして、田中早苗委員を再任することについて、議会の同意をいただくことができましたので、この場で御報告させていただきます。 これによりまして、田中早苗委員の任期は、令和８年１０月１日から、令和１２年９月３０日までの４年間となるものでございます。 資料は１１ページ、議案第７３号の教育委員会委員の任命についてに記載がございます。 引き続き、よろしくお願いいたします。
教育長	それでは、再任されました田中早苗委員から、一言、御挨拶をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
田中早苗委員	再任となりました田中早苗です。福江の市民プールの件も気になりまして、辞めることをためらいました。もう４年、愉快な委員のみなさんと御一緒させていただきます。よろしくお願いします。
教育長	ありがとうございました。それでは会を進めたいと思います。 本日は何かと御多用のところ御出席くださいまして、ありがとうございます。ただいまの出席者は５名であります。定足数に達しておりますので、令和８年田原市教育委員会第９回定例会は成立をいたしました。これより開会をいたします。
教育長	それでは、会議規則第１３条第２項の規定により、会議録署名委員の指名をさせていただきます。今回の署名者として、髙崎佐智江委員と山本哲男委員の御両名を指名させていただきますので、よろしくお願いをいたします。
教育長	それでは、議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきます。２ページから５ページにかけてのものとなります。今回、多くな

っているのは、８月の下旬まで行われておりました、全国中学校総合体育大会、それに参加した者の記録を載せたためです。簡単にそれを振り返りますと、７月３１日に教育長訪問に来てくれた田原中学の陸上部の女子については、リレーで全国大会５位に入賞いたしました。それから、１００メートルハードルの山本選手は２位と、大変すばらしいなと。それから中川選手、２００メートルに出たのですけれども、残念ながら予選敗退だったのですけれども、リレーも合わせて、本当によく走ってくれたなと思います。

それから、８月１３日に表敬訪問に来てくれた田原中学の野球部については、全国大会で四国の香川県の鳳来中学に１対０で勝ちました。３４年前は結局、勝てなかった、それを見事に覆してくれました。２回戦は、残念ながら第２シードのところに負けてしまいましたけれども、よく頑張ったなと思います。

それから、８月１７日に訪問に来てくれたクラブチーム、QueenBeeの田原中学３年の川野多凰選手ですけれども、この子は木曜日にもう一回、その結果報告ということで来てくれるのですけれども、団体戦については、この子のところは勝ったんですけれども、他の２チームが負けたということで予選で敗退しておりますが、個人戦は３位と。それで準決勝で負けたところが優勝したところで、そこにファイナルの戦いをやっておりますので、これははっきり言って、本当に胸を張っていい、そういう記録だったと思います。

それから、３ページの最初、水泳について、ジュニアオリンピックカップに出た夏目さんですが、この子は全国大会の予選で敗退をしてしまいましたが、全体での３４位ですので、立派なものかなと思っております。

そして、４ページの最初にあります、クラブチーム、男子バレーボール、:Salire Stars Toyohashiというチームで出た、田原中学３年の太田君のところは、予選は１回戦で、京都の山王ボンズに０対２で負けたのですけれども、次の試合で神奈川の横浜早渕中学に２対０で勝って、決勝トーナメントに進んで、その決勝トーナメントで、東京足立区の千江中学に２対１で勝って、ベスト１６に入っております。やはり、全国大会でとにかく１勝するというのはすごいところですので、ここも胸を張っていいと思っております。

以上が、全国中学校総合体育大会の結果です。

それでは、その他のものについて、ざっと説明をしたいと思いますが、３ページからとなります。８月２１日に、中学生の海外交流視察団が、アメリカのジョージタウン市に向けて出発をいたしました。そして、８月の２７日に、無事、帰着をしております。

この間、ジョージタウン市では、市長さんをはじめ、非常に手厚い

もてなしを受けて、それから、ホームステイでも、子どもたちは非常にあちらの子たちと交流を深めたという、そういうふうなことを聞いております。

それから、８月２３日、田原市の少年少女発明クラブチャレンジ創造コンテストの田原地区大会が田原文化会館で行われ、またこれが２チーム選出されたのですけれども、全国大会に通るか通らないかは、まだ選考中というところで分かっておりませんが、なかなかすばらしい作品が今年もできたなと思っております。

それから、８月２４日に東三河不登校児支援事業として、みんなの居場所、合同説明会というのが行われまして、そこに参加団体ということで書いてあるのですが、サポートセンター、それから、ＮＰＯ法人ゆずりは学園、一般社団法人ほっきょくなど、学校以外のところも、こういうふうに動いているのだということを、学校の先生方、または直接、不登校の子たちを持つ保護者の皆さんにお知らせすることができました。

それから、そのすぐ下なのですけれども、教育長の表敬訪問で、ボランティアアワード２０２６という全国大会に、豊丘高校２年の安藤さくらさん。これは、一般社団法人ほっきょくの髙田氏と坂口氏に応援をしてもらっておるのですけれども、その子が参加をしてきました。これもまた、なかなか優れた、海で拾ったものを上手に加工して、それを販売したりというような活動で、経済活動とそれから環境活動を合わせたような活動に感心をいたしました。

それから、８月２９日、皆さんにも見ていただけたかなと思うのですけれども、アジア競技大会の聖火リレーの田原区間が、ララグランから田原市役所の間で行われて、それで駅前ララグランのところは、非常に花もきれいに飾ってあって、大いに盛り上がったかなと。沿道も人がたくさんいて、他市との写真を見ても負けてないなっていう、田原の盛り上がりを上手に作れたかなと考えております。

それから、８月３０日に、愛知県の民俗芸能大会(田原市大会)が田原文化会館で行われ、ここで田原市の豊島大念仏おどりが披露されました。こういう伝統芸能を守っていくというのは大変だけど、やはり欠かしてはいけないものだなと改めて思いました。最後まで田原の人もたくさん残ってくれたので、これは大念仏踊りの人も満足されたのではないかなと考えております。

それから９月５日、トライアスロンの開会式、そして９月６日、本大会が行われました。９月の６日だけ、最後のほうにちょっと雨降ってしまいましたけれども、それでも、参加した皆さんからは、いい大会であったというふうに総括されているということを聞きましたので、皆さんにも参加していただき、本当にありがとうございます。

最後に９月８日、桜丘学園、桜丘中学校と高校の１００周年記念式典に行ってまいりましたが、すばらしい式典でした。はっきり言ってお金があるなと、公立高校には真似ができないなという、そういう規模の催しでした。国会議員、それから豊橋市長、よくこれだけ来賓を集めることができたなというような、そんな式典でした。

やはり、私学の無償化に合わせて、非常に私学も意気軒昂というか、これから人を集めてさらに盛り上がっていこうという、そういう気合いを感じました。公立高校もぜひ、それと同じレベルではなくても、魅力化を図りながら生き残りを図ってほしいな、そんなふうに思った式典でありました。

以上ですが、今の自分の報告に対して、何かお聞きしたいことがありましたらよろしくお願いします。よろしいですかね。

御質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

では、これより議題に入ります。はじめに、議案第２７号　令和９年度教職員定期人事動方針についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

学校教育課長

６ページをお開きください。議案第２７号　令和９年度教職員定期人事異動方針について。このことについて、別紙のとおり定めるものとする。令和８年９月１５日提出、田原市教育委員会教育長名です。

７ページ、８ページをお開きください。８ページ、愛知県教育委員会から令和９年度の教職員定期人事異動方針が示されました。令和８年度の方針から、大きな変更はありませんでした。田原市教育委員会としましては、県の方針に沿って、令和８年度の異動方針から、下線の文言を付け加えて、令和９年度の異動方針を示します。

７ページにお戻りください。７ページが、令和９年度の田原市教育委員会の定期人事異動方針となります。下線部確認をさせていただきます。前文２行目、社会の課題や変化に対してという言葉から、３行目、学校の組織力、１から５の中で、１は年度当初から学校の組織力、３つ目、学校の活性化。４つ目、及び社会の変化に対応した学校づくり。５つ目、教職員の能力の引き出しという、これが県の教育委員会から示されたものの、令和８年から令和９年度にかけて変わったところでございます。田原市も同様に、このように変更して方針を示していきたいと思います。よろしく御審議ください。

教育長

事務局の説明が終わりましたが、御質問等はございますか。

それでは、市の教育委員会は、この人事異動方針に基づいて、人事異動を行っていきます。人事異動は基本として、学校の活性化と、それぞれ教職員のいわゆる人材育成を目指しております。また、これとはまた別に、異動希望等もしっかり考えてやっていきますので、また

よろしく御理解ください。では、御質問もないようですので、お諮りをいたします。議案第２７号　令和９年度教職員定期人事の方針については、原案どおり可決することに御異議はございませんか。

委員　「異議なし」

教育長　ありがとうございます。では、御異議はないようですので、議案第２７号につきましては、原案どおり可決をいたしました。
次に、議案第２８号　文化財保護審議会委員の任命についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

文化財課長　文化財課です。９ページを御覧ください。議案第２８号　田原市文化財保護審議会委員の任命について。田原市文化財保護審議会委員を別紙の通り任命するものとする。令和８年９月１５日提出、田原市教育委員会教育長名でございます。提案理由といたしましては、田原市文化財保護審議会委員２名が任期満了となるため、新たに審議会委員の任命をするものです。
１０ページを御覧ください。お二方のお名前があります。安井俊則さん、田原市田原町にお住まいの方で、専門分野といたしましては、埋蔵文化財になります。次の方、林哲志さん、野田町にお住まいで、専門分野といたしましては、地理学、地図学が御専門であります。
いずれの方も再任となります。任期につきましては、令和８年の１０月１日から、令和１０年の９月３０日までということになっております。
以上です。よろしくお願いします。

教育長　事務局の説明が終わりましたが、御質問等はございますか。御質問等もないようですので、お諮りをいたします。
議案第２８号　文化財保護審議会委員任命については、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

委員　「異議なし」

教育長　ありがとうございます。では、御異議ないようですので、議案第２８号につきましては、原案どおり可決をいたしました。

教育長　続いて報告事項に入りたいと思います。では、教育委員の皆様方からの連絡報告事項を順次お願いします。
はじめに、田中智和委員からよろしくお願いします。

田中智和委員

失礼します。私は３点報告させていただきます。

まず、８月２３日に男女共同参画フェスティバルということで、田原市ＳＤＧｓフェスタと合同で文化会館のほうで開催された催事に参加してきました。

今回は、ワークショップということで、「自分時間って何」というテーマで、技科大の岩内章太郎先生のもとワークショップを行いました。私のグループはちょうど役員さんばかりで、一般の参加者さんは見えなかったのですが、役員さんも、役なので参加したのですが、来てみて対話ができて、非常によかったですとおっしゃられていて、その言葉どおり、本当に対話というものの大切さを実感しました。

ぬいぐるみを持った人だけが話す権利があって、１人の人がたくさん話すのではなく、言いたいことがある人が、ぬいぐるみをもらってから話すので、その人の話をゆっくり聞くことができて、ちゃちゃが入らないというか、その人の考えをゆっくり述べて、緩やかに対話を楽しむことができて、非常によかったと思います。

そして、９月５日、教育講演会へＰＴＡ役員として参加してきました。講師は、妹尾昌俊さんということで、学校よし、地域よし、家庭よしの“三方よし”を実現するためには、という話だったのですが、ＰＴＡというよりは、結構先生寄りの話が多かったなと感じました。

その中でも、先生のストレスが溜まると、結果的に子どもにも子どもの教育にも関わってくるということで、やはり先生のストレスチェックなどが大事で、そのストレスも校長先生によって、学校のストレスとは違うという話が、笑いも起き、すごくいい雰囲気で話が進んでいました。その中で、「子どもが真ん中」という言葉がありますけれども、その子ども、点をつける場所を、「子ども」で点をつけて、「がまん中」の「なか」を「ちゅう」とすると、「子ども・がまん中」になるんだっていう話で、子どもが真ん中と言いつつ、それは子どもに我慢をさせているんだという時間があるということを、改めて考えさせられました。そして、余談ではありますが、最初の教育長のあいさつが一字一句間違わないので、後ろの、とある先生が、「教育長は役者になれるのではないか」と言っていましたので、報告させていただきます。

そして、その夜にトライアスロンの開会式に参加させていただきました。天気も晴れ女・晴れ男さんのおかげで、何とかパラパラ具合にもって、非常に楽しい開会式となりました。初めて妻と息子を連れていったのですが、そんなに人混みでもなく、静かでもなく、こんなにいい会があったのだと、とても驚いていました。もっと、田原の街中の人が目を向けて知ってもらっても、みんな満足するのではないでは

ないかなと言っていました。
　当日の開会式の田中君の言葉にもありました、自分も先生の応援に行って、その先生の苦しそうな姿を見たけど、だけど楽しそうだった。やってみたくなったという話を聞いて、私、当日は校区のスポーツ大会のために行けなかったのですが、いつか生のトライアスロンを見に行けたらなと思いました。
　以上です。

教育長

　ありがとうございました。田中早苗委員、よろしくお願いします。

田中早苗委員

　お願いします。私から２件報告いたします。８月２９日に聖火リレーの応援に行ってきました。田原市は１１時スタートでしたが、１０時からキッズのダンスステージなどの催し物があって、本当にたくさんの人が集まっていました。大久保さん効果なのか、思った以上でした。やはり注目されたのが、スターターの大久保佳代子さんかと思いますけれども、私が２走目の子が知り合いでしたので、その子が見える場所で、ちょっと応援していました。トーチキスというものがあって、前後のランナーがそれぞれのトーチを近付けて、聖火を受け渡すというのがあって、そのときポーズを取るのですけれども、観客に撮影しやすいように、三方向を向いてくれたりして、ちょっとうれしかったです。素敵な笑顔で、見ている応援の人たちも、本当に自然に笑顔になる楽しいいろいろなポーズがあるようなのですけれども、ランナー同士が当日に決めたそうなので、オリジナルのポーズを作った人もいるかなと思いました。移動しまして、１７時スタートの豊川市にも行きました。豊川市のスターターは、俳優の渡辺いっけいさんでした。また、トーチの製作は、市内の新富士バーナーが担っておりました。１４走のアンカーを、息子が豊川高校の代表として務めたのですけれども、豊川市は、各高校から代表を出していたようでした。息子の前の走者の方が、元三遠ネオフェニックスの太田選手でして、すごい身長差があり、さすがプロのバスケット選手というのは大きいなというのを、とても近くで感じました。太田選手は、娘さんが豊川高校生というご縁があって、２人でその豊川高校の応援によく使われるきつねのポーズ、コンポーズっていうのですけれども、それでトーチキスをしていました。この聖火は、愛知、東京、広島の３つの火を１つに集めたものなのですけども、息子は昨年、終戦８０年の記念行事のピースリレーという広島から愛知まで自転車でリレーして、平和の火を運ぶというのがあったのですけれども、またその平和の火に出会えまして、ちょっと縁を感じました。
　続いて、９月５日に伊良湖トライアスロン前夜祭、６日に大会の応

援に行ってきました。４０回記念大会ということで、過去最多人数のエントリーがあったそうです。開会式では、息子が恩師と選手宣誓をさせていただきまして、本当に貴重な機会をいただき、ありがとうございました。フラダンス、ラストロットのライブがあり、盛大な持ち投げにはびっくりしました。田原市のおもてなしの心がこもったセレモニーでした。大会当日はちょっと心配していた通りに、途中から雨が降り、バイクの転倒が少々あり、皆さんゴールできたかなと心配になりました。しかし、去年使用できなかったサンセットロードが、大会中に限り使用できましたので、追い越しがしやすくなったり、また応援もしやすかったです。例年、ゴール後はプールで体を冷やす選手が多いなと思うのですけれども、気温が低くて、雨だったため、あさり汁が身にしみると言って喜ばれていました。

こういった大会を見て、毎回思うのですけれども、選手はトレーニングに励み、もちろん楽しみにしているのですけれども、支えてくれるたくさんの方々がいるなという、本当にボランティアや大会運営に関わる方たちのおかげで、大会が開かれるなということを、選手の皆さん、感謝しているようでした。息子の友人が応援に来てくれて、３回目なのですけれども、毎回違った感動があると言っていました。それぞれの立場で得るものが違って、また参加したいと思う気持ちが芽生えたり、友達が参加したいなと思ってくれたり、感動の連鎖もあって、とてもこの伊良湖大会、いい大会だなと思いました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。またぜひ来年も頑張って活躍してください。では髙崎佐智江委員、よろしくお願いします。

髙崎委員

それでは、私から簡単に６点をお話しさせてください。その中、２点は個人的に参加させていただいたものがございます。

まず１点目、私はＮＩＥ教育の会に参加させていただきました。これは教育委員会に見える大羽先生の同級生、東邦大学の白井先生をお呼びして、多文化共生時代のメディア情報リテラシーを育成するＮＩＥの実践ということで、昨年度、衣笠小学校の堀部先生が２年間、すばらしい教育をなさっていたと思うのですが、この東邦大学の２か月に１回、久世先生、そして地域の別所先生が中心になって、館長だとかもお見えになったり、いろいろな先生方もチームとして勉強会をされています。私も、新聞の会ということで、参加をさせていただいて、学ばさせていただいているのですが、この新聞が、東邦大学の白井先生によると、教育にすごく役立つという、大雑把に言うと、そういうことなのですが、それよりも、名古屋市の場合、中区という繁華

街で、放課後デイで、ほぼほぼ外国人の方ばかりだということに驚きがありました。私の中に、従来の日本の方たちというのは、放課後どこへ行くのかなということがあって、質問させていただいたのですが、ここのところがちょっと曖昧になっているのが、ちょっとショックなところかなと思っております。

次に聖火ランナーですが、私は突然の勤務の交代で応援に行けなかったのですが、勤務先が近くにございまして、駐車場貸してくださいとか、自転車を置かせてくださいとか、たくさんの方がお見えになったのですが、見れなかったのが残念です。

ただ、あとあと、いろいろなところに、市長さんとか、大久保さんとか、いろいろな方がいらっしゃったのですが、大久保さんがその日の夜の２４時間テレビに、また東京での番組に出られていたりとか、こういった方を拝見していると、少しぐらい慌ただしくても、弱音を吐いていてはいけないなと思いました。

あと、あの前の日から、スポーツ課の方が駐車場整備だったり、朝から緊張感が溢れて、駐車場だったり、周りを整備されていたりとか、これは本当に頭の下がる思いです。

そして、次に、トライアスロンですね。私は午前中、転倒しまして、まだ痛みが残っているのですけれども、そんなことよりも、何よりも選手の方々の元気な姿を拝見すると、痛みも吹き飛ぶような思いでございましたが、選手宣誓の先生と田中さんの息子さんが、私、すごいなと思ったのが、田中さんの息子さんのすばらしかったのですけれども、途中で止まってしまったときも、今の子らしく、携帯出してという、あれが私はすごいなと思いまして、そこで先生のフォローが入ったり、先生も教え子さんと一緒にやられて、これすごいことだなと、卒業してからもこの絆ってすごいなと感動しました。

また、田中さん、次の日、お子さん男の子３人と一緒にいらっしゃって、すばらしい家族と、男の子３人でお母さんと一緒にいらっしゃるその姿、拝見して、ああ、子育てってすごく大切だなと改めて思わせていただきました。

また、次の日に、ちょっと夫が役を賜りまして、今まであまり同じ行事に出ることなかったので、私もちょっとついて行った次第なのですけれども、本当に連日、部長もお見えになっていたりですとか、あと、スポーツ課の方、聖火ランナー、それからトライアスロンと終わった後に、若い子たちもちょっと疲れの色が見えてたりとか。でも、これをやり切る。またサーフィンがあり、本当に課長、ありがとうございます。本当にもうなんか大変ですけれども、あとしばらく、健康に気をつけて御尽力くださいませ。すばらしい会だったなと思っております。

また、帰りに、実は伊良湖温泉に寄りたかったのですけれども、ちょっと人が多かったので失礼したのですが、このところ、伊良湖温泉にお邪魔したときに、連日３００名いらっしゃっているとか、この夏は４００名いらっしゃったりだとか、この伊良湖温泉効果って、私はこのすごく渥美半島にもたらす効果は、最近、ちょっと感動しております。

次に。私、９月１２日に、個人的にフェムテックという豊橋市の商工会議所で、デモストレーションというか、プレゼンテーションをしたのですけれども、４０名の方が参加されていまして、愛知県の中から。実は私、最年長だったのですね。自分の強みを言うところがあったのですけれども、思わず私の強みは６２歳ですということをお伝えしたんですけど、申し上げたいのは、先ほどの転倒と一緒で、脳科学のことも前回、皆さんおっしゃっていましたけれども、私の頭の中はずっと若いんです。けど、転倒したときにつくづく思ったのは、足がもつれたのが実は原因でして、頭と身体が違うんだなということを、最近、身に沁みて思っております。なので、これからは、ちょっとゆとりを持って、いろいろ物事の断捨離をしながら見つめていきたいなということとともに、それによって、いろいろ皆さんのおかげだとか、周りの方のことが、より理解できるようになるのではないかなと思っています。また、話が戻りますけれども、ちょっと私、感動したことがあったので一点お話をさせてください。トライアスロンの日の午前中に、元市役所の管理職の女性の方と一緒に、ある会議に参加させていただきました。このときに私のすごく感動したのは、その女性が、中学のクラブでお茶を御指導されていることがあって、それで、担当していた先生もたまたま御一緒だったので、進路先でお茶を教えている先生が、すごくその先生方を褒めていらしたのですね。お手前がきれいとか、すごく性格がきちんとしているとか。でも、よくよく伺うと、中学校時代は学校に行きにくかった方だそうです。それが、そのことがやりたいために、そこの学校を選んで、今ではすごくそこの学校で、絶対にそのクラブには、皆出席ということを伺って、先生方も喜んでみえましたし、私が一番うれしかったなと思うのは、中学校で行きにくかったけれども、でも、１つだけでも、授業には出られないけれども、クラブには必ず来るとか、何か彼女の中に光るものがあって、そして、それがまたその彼女の目標になるということが、私はこういったことが１個１個、もしかしたら中学校とか小学校で行きにくい子たちもたくさんいらっしゃり、高田先生とか、坂口先生とか頑張っていらっしゃいますけれども、本当にこういう子たちが増えていく仕組みができるといいなということを、今回改めて勉強させていただきました。私自身は、ちょっと頭と体がアンバランスの世代では

ありますけれども、さっきフェムテックでちょっと言いたかったことは何かというと、ごめんなさい。話が飛んじゃいました。実は、ここで田原の方がいらっしゃって、聴覚障害のお子さんを持っていらっしゃる方が、マルシェを一生懸命やっていらっしゃいます。この方の応援をされているのが、実は是住館長さんでして、私、実はそのプレゼンをするときに、若い方たちの周りで、自分の全てを話してしまうと、ちょっと皆さん大変かなと思って、私の強みは年齢ですという感じで言っていたのですけれども、どこからか、これは中日新聞が主催をしていて、そして私は金融機関の紹介でここに応募したものですから、恐らく後から気がついたんですけれども、私は最初から想定外だったなんていうことでありました。けれども、ここに向けてプレゼンをしたりとか、それから、そうしてマルシェを一生懸命やっている方が、私の身元を分かって、一生懸命パンフレットを持ってきて応援してくださいということで、彼女と知り合えたということが、これからも、こうして私が皆さんのお役に立てることがあればいいのかなということを、結果としてフェムテックに応募はしましたけれども、そういうことがいろんなところで、館長さんがすばらしいことをされていたりとか、私が知るきっかけになって、館長、控え目なので、もっともっといろいろ教えていただけると、皆さんもそうですけれども、私もより学びになるので、これからも引き続き、いろいろ教えていただけたらなと思った次第です。

以上です。

教育長

ありがとうございました。では、最後に山本委員、よろしくお願いします。

山本委員

まず、８月３０日の愛知県民俗芸能大会を見に行ってきました。６つの演目がありました。限られた演技時間ということで、どの演技も実際の一部分をやられていたと思います。６つ芸能があったのですけれども、これは全て見ようと思ったら、多分、祭りなどの当日に現地に行かなければ見られないし、見に行くことがないと思うので、一挙に見られたということで、お得感があるような感じでした。

私が感心したのは、年配の方がやっているのかなと思ったら、若い方や小中学生の子どもが結構やっていて、特に蟹江町の曲打ちの太鼓は、もう子どもが主な演技者でした。伝統芸能を継承するために、本当に地域で頑張っているのだなあというふうな印象を持ちました。

演目のトリは、田原市の豊島大念仏踊りでした。実は、田原東部小学校のときに、学芸会で何度か見たことがあったのですけれども、久しぶりに見たので、懐かしく、ああ、こうだったなんて思い出しながら、拝見させていただきました。特に３人の女性というか、中学生か

ら高校生ぐらいの方でしょうかね。あの太鼓はもう圧巻でした。かなり練習しているんだろうなということも感じましたし、長時間太鼓を叩きながら踊りきる体力というのは、ものすごいなと思いました。本当にあれこそ表彰したりするようなすばらしいものだなと。田原東部小学校にいるときはあまり感じなかったのですけれども、改めて見るとそう感じました。

９月５日は、伊良湖トライアスロンの開会式に行きました。以前、トライアスロン当日にちょっと手伝いをさせていただいたことがあるのですけれども、開会式に行ったのは初めてでした。４０回目ということで、考えてみると、始まったのは１９８０年代ということになって、旧渥美町の時代だったと思うんですよね。だから、ああ、もう４０年も前に渥美町の役場の方々が、地域の活性化、全国から人に来てもらいたいなという意味も込めて、多分、始めたのだろうな、すごいなということも、逆に思いました。トライアスロンと全然関係ない話なのですけれども、アトラクションの中で、わかたか太鼓をやっていたんです。あれは旧伊良湖岬中学校で始まったものだと思うのです。わかたか太鼓が、岬クラブと言われていたと思うのですけれども、こうして活動として続いているということで、本当に感動しました。発表を見ると、衣装の袖のところに「伊良湖岬中学校」と書いてあったのですよね。だから、ああ、よく続けてくれているなと、伊良湖岬中学校の出身者とかＯＢの方は、うれしいだろうなということを思いながら見ていました。本当にそういうことを続けていられる関係者の方とか、もちろん子どもさんもそうなのですけれども、含めて、本当にちょっと敬意を抱いた次第であります。

以上です。

教育長

ありがとうございました。委員の皆様には、本当にいろいろな会に御出席いただき、ありがとうございます。皆様が出ていただけることで、様々な会で、教育委員会もちゃんと気を配っているということが伝わると思いますので、これからもよろしくお願いをいたします。

それでは、次に、報告事項の（２）田原市議会第３回定例会一般質問等について、事務局から報告をお願いします。

教育部長

それでは、私から御説明申し上げます。一般質問のほか、議案等もございますので、その関連について御説明申し上げます。

資料の１１ページを御覧いただきたいと思います。

まず、議案７７号　多目的ホール建設工事田原南部市民館（週休２日）請負契約について。加えて議案第７８号　多目的ホール建設工事和地市民館（週休２日）請負契約につきましては、契約の締結に関す

る議案でございまして、本会議初日の８月２８日に提案説明を行い、９月４日開催の文教厚生委員会で審議を経ております。９月１８日の議会最終日に議決をいただく予定で、今は進めております。

続いて、１２ページを御覧いただきたいと思います。議案第８１号ですけれども、令和８年度田原市一般会計補正予算（第２号）でございますが、９月の７日に、予算決算委員会で審議がされております。

続いて、補正予算の内容につきまして、８月の教育委員会定例会で、各課の課長から説明をさせていただいておりますので、詳細な説明は省略をさせていただきますが、主なものとして、田原東部小学校の乗入部の横断側溝改修工事、田原中学校の地盤補強工事、福江中学校の保健室床改修工事、東部中学校の屋内運動場音響設備更新工事、田原市総合体育館空調設備の更新、物価高騰対策として、児童生徒に図書カードを３，０００円配布するというようなこともございました。その内容について、補正予算第２号ということでございます。

続いて、議案８２号でございますが、令和７年度における田原市一般会計歳入、歳出の決算認定でございまして、歳入額は前年度に比べ、約２億３，０００万円の増、歳出は前年度に比べ、約４億円の増というふうになってございます。

続きまして、１４ページを御覧いただきたいと思います。一般質問の内容でございまして、９月の１日、２日に行われまして、主に教育部に関わる内容につい御説明を申し上げます。進んでいただきまして、２２ページには一般質問の通告書が付けさせていただいております。今回は真野議員のほうから、一括質問、一括答弁方式ということで、質問のお題項目は、地域社会における学校のあり方について、小項目として質問が２点。１点目が、小規模校の地域コミュニティにおける役割と位置付け。２点目が、地域探究学習の体系化とその方向性について、ということで、それぞれ質問要旨が記載されてございます。

４０ページまで飛んでください。では、詳細な説明をさせていただきます。今回の教育部１件でしたので、少し長くなってしまうかもしれませんが、御容赦いただきたいと思います。質問者、真野議員、答弁者、教育部長でございます。質問項目の大項目、地域社会における学校のあり方について。質問の小項目の１点目、小規模校の地域コミュニティにおける役割と位置付けについての質問のポイントですが、田原市は小規模校の地域コミュニティにおける役割をどのように評価し、今後どのように位置付けしていくのかということでございます。

小項目の２点目は、地域探究学習の体系化とその方向性についてでしたが、質問のポイントは、本市でも地域資源を学び入れる柔軟なカリキュラムにより、探究学習の充実や、小規模校の価値向上が期待さ

れますと、そこで、こうした体制整備に対する田原市の考え方を伺うというものでございます。

１点目の答弁要旨から、小規模校の地域コミュニティにおける役割としての位置付けについてですけれども、下の答弁要旨のところを御説明させていただきますと、初めに、学校は教育基本法及び学校教育法に基づき、全ての子どもに教育の機会均等を保障する公の機関で、その役割は、子どもの学びの保障にあると認識しておりますと、まず前置きをさせていただき、それで答弁を始めさせていただいております。その上で、本市におきましては、学校は小規模校に限らず、子どもたちに対する教育の場であることはもとより、地域の方々が子どもたちを見守り、学校行事や地域活動などを通じて、世代を超えた交流の場となるなど、学校は地域コミュニティの一員になっていると評価しているとし、今後、本市が学校のあり方を検討する際には、子どもたちの学びの環境の改善を中心に置き、より良い教育環境の実現や、適正規模、適正配置、魅力ある学校づくりなど、時代の変化とともに、子どもたちの教育環境にとって、何が一番大切かという視点を最優先に考えてまいりました。そういう答弁したところでございます。

４１ページの中段辺り、２点目として、地域探究学習の体系化とその方向性について、本市におきましては、少子化の進行など、社会情勢が激しく変化する中にあっても、児童が地域資源から多様な学びを得られるよう、ふるさと学習の推進や、コミュニティ・スクールの仕組みを生かした持続可能な教育体制を全市的に整備していくことが重要であるとし、次期学習指導要領では、総合的な探究の時間が創設され、今までの総合的な学習の時間を探究に特化させる方針が、文部科学省から示されることになり、本市では、中山小学校で柔軟なカリキュラムが編成できるサキドリプログラムの承認を受けて先行しており、この研究成果は、令和９年度に市内の教職員に向けた研究発表を行うことで、市内全ての学校に広く展開し、全体の底上げを図ってまいりますというふうに、答弁をさせていただきました。

４３ページからは、再質問となっております。大きく４点の再質問をいただきまして、１点目、１の１として、少子化、人口減少が進む中での、小規模校のあり方を含めた地域コミュニティの持続性に関する市の捉え方についての質問でございますが、下の答弁要旨におきまして、この１点目の問いに対しては、学校の規模にかかわらず、地域まちづくり推進計画の策定を通じた検討を進めるとともに、地域と学校の連携協働による地域活性化を図ることが大切であるというふうに、総務部長のほうから、これはお答えをさせていただきました。

再質問の２問目以降については、教育部の方から答弁をしてございます。再質問の２点目、１の２として、地域が学校とともに育んでき

た歴史、文化、産業などの教育的価値を、今後どのように維持し、次世代へ引き継いでいくのかという問いには、４４ページの中段辺りで、コミュニティ・スクールを活用し、地域住民や地元企業などの多様な主体と連携、協働することで、質の高いふるさと学習を通じて、次世代へ引き継いでいくというふうに答弁してございます。

続いて、再質問の３点目でございます。学校教育振興計画、学校未来創造計画と各振興計画を連動させた地域探究学習の体系化に対する市の捉え方についての問いに対して、市の各種振興計画と部局を超えて有機的に連動させ、地域の豊かな産業や環境資源を教育の場へ最大限に還元するため、関係者と一体となって推進すると答弁をさせていただいたところです。

最後に、４５ページ、再質問の４点目でございます。地域人材の参画や、柔軟なカリキュラム編成など、学校現場で探究学習を支える体制整備の今後の方向性についての問いには、コミュニティ・スクールの全国的な機能強化と、柔軟な教育課程の編成を一体的に推進し、学校の規模にかかわらず、誰もが質の高い学びを受けられる、持続的な教育体制を構築していくという、そういう答弁をさせていただきました。

一般質問については、以上でございます。

教育長

ただいま、事務局の報告がありましたが、御質問等はございますか。田中早苗委員。

田中早苗委員

お願いします。４１ページにある、中山小学校のサキドリプログラムについてですけれども、このプログラムは市から、例えば１校どこかやってくれないかと打診したのか、中山小側から言われたのか、どちらでしょうか。

学校教育課長

文科省が全国から募集をかけておりまして、中山小学校がそれに応募をしました。応募については、教育委員会を通して応募をして、認められてやったものでございます。

田中早苗委員

ありがとうございます。

教育長

研究発表等もありますので、またそこで見ていただけたらありがたいかなと思います。その他ございますか。よろしいですか。

御質問もないようですので、（３）教育委員会の事務の点検評価の公表について、事務局から報告をお願いします。

教育部長

それでは、４６ページの資料を御覧いただきたいと思います。報告事項（３）教育委員会、事務の点検、評価を公表しますの資料を御覧いただきたいと思います。本教育委員会では、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況につきまして、自己点検と評価、いわゆる業績評価を行っております。これは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第２６条に、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果の報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないという趣旨の記載がございます。それに持たれたもので、令和８年９月、会期中の市議会では、９月の８日、９日の両日、市議会の行政評価勉強会が開かれまして、市議会から質疑を受け、課長、課長補佐、係長がそれぞれ出席し、説明を行っております。改めて、本委員会で報告と御説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、この公表は、市議会の閉会後、市から教育委員会を含め、全ての部署の事務事業評価を公表してまいりますので、よろしくお願いいたします。

では、４７ページを御覧ください。行政評価とはというものなのですけれども、どういったものかということで、行政評価は行政活動の目的を明確にして、その成果を評価する仕組みでございます。ＰＤＣＡサイクルで行政マネジメントを行うというものでございます。また、行政評価は、施策評価と事務事業評価に分かれておりまして、今回は、事務事業評価についてのみ報告となっております。

４８ページには、行政評価の目的、４９ページからの行政評価の概要や、分野別の評価事業数と事業費の状況、５４ページまで飛びますけれども、５４ページから、評価対象事業の一覧として、各部が取り組む市全体の３２４事業に対して、事業の妥当性、有効性、効率性、改善効果が評価され、本教育委員会の該当する事業は、５５ページから５８ページ以降に掲載がされております。

教育部の５５の事業につきましては、詳細なものが６４ページから７３ページにかけて掲載がされておりまして、評価対象事業の一覧表の根拠となっている各課、各事業の妥当性を評価するシートが添付されております。評価シートの中央、事務事業の現状と課題は、令和７年度その右隣、当該年度中に実施した課題解決や、事務改善に向けた取組の成果は、令和８年度、年度以降の課題解決に向けた取組方針は、令和９年度以降を目指した記載となってございます。

簡単な説明とはなりますけれども、以上で説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

教育長

　というわけで、ぱっと見て、全部を理解するのは、なかなか難しいかなと思いますけれども、何か質問等はございますか。
　それでは、金額等も含めて、非常に細かく評価はされております。いわゆる効果等も記載されておりますので、また見ていただき、今後、分からないようなことがありましたら、部長、課長、揃っておりますので、またご質問いただけたらありがたいかなと思います。
　以上で報告事項を終わりといたします。

教育長

　次にその他ですけれども、事務局から何がございますか。

教育総務課長

　教育総務課です。よろしくお願いします。７４ページをお願いいたします。教育委員出席日程案についてでございます。まず、一番上にございます９月１５日火曜日、本日でございます。教育委員会第９回定例会でございます。そして、次に１０月６日、火曜日でございます。教育委員辞令交付式がございます。こちらにつきまして、９時から、場所は市長応接室、教育長と田中早苗委員さんにご出席をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
　そして、１０月の２０日、第１０回の定例会。場所時間につきましては、本日と同じく、１３時３０分から３０２会議室でございます。
　そして、１０月の２９日木曜日でございます。市内小中学校研究発表会がございます。大草小学校と東部中学校でございます。こちらは、教育長、そして教育委員さんに御出席をお願いするものでございます。
　１１月２０日も、教育委員定例会がございます。第１１回でございます。時間が少し、ここは違いまして、１６時からになっております。場所は同じく３０２会議室でございます。
　そして、学校訪問の日程につきましては、御覧の通り、９月３０日から、福江中学校を皮切りにございますので、また御確認ください。
　そして、７５ページをお願いいたします。こちらは教育関係イベント等が記してございますので、またこちらも御確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

教育長

　その他ございますか。生涯学習課長。

生涯学習課長

　生涯学習課からです。お手元に田原落語会のチラシを配布させていただきました。昨年度に引き続き、今年１１月１５日に、田原落語会を開催いたします。立川晴の輔さん、三遊亭萬橘さん、瀧川鯉斗さんという、３人の真打をお招きして、落語会を開催します。チケットのほう、一般が３，５００円、２２歳以下の方は２，０００円となって

おります。まだチケットは販売していますので、よろしければ御購入よろしくお願いいたします。

教育長

ぜひ見ていただけるとありがたいなと思いますので、よろしくお願いします。
その他、スポーツ課長。

スポーツ課長

よろしいでしょうか。委員のお手元に、伊良湖トライアスロンの上位の結果、また、全体のリザルト、大会結果も置いてありますので、よろしくお願いいたします。裏側を見ていただきますと、一番下のところ、申込人数、１，１１７人、当日出走メンバーが１，０２９人、うち完走が９５５人となっております。先ほど、いろいろ教育委員報告がありました。雨が降りましたが、そこまで多くのけがも増えておらず、また特に、この時期では珍しい低体温症という症状が複数出ていたということで、この９月の時期には珍しい日だったなと思っております。
以上となります。

教育長

ありがとうございます。その他、文化財課長。

文化財課長

本日ちょっとお配りはしてないのですが、既に教育委員さんには、チラシが送られてきていると思います。
こちら、１０月１０日から、企画展で、重要文化財の渡辺崋山像の修理記念ということで、そのお披露目を兼ねた展覧会を開催してまいります。重要文化財の、渡辺崋山の関係資料という資料があるのですが、それの５０点のうちの３０点が、この展覧会ですべて見られます。展示点数が今７４点ぐらいあるのですけれども、その半分以上がほぼ重要文化財という貴重なものになりますので、この機会を逃すと、また一堂に会するということが、なかなかできないと思いますので、前期・後期で開催をしていきますので、ぜひ御覧いただければと思います。
以上です。

教育長

その他ございますか。

教育総務課長

ございません。

教育長

それでは、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。御協力ありがとうございました。

	これをもちまして、田原市教育委員会第９回定例会を閉会とさせていただきます。 ありがとうございました。
教育長	閉　　会　　午後　２時３２分